

中部企業 広がる支援の輪



能登地震1か月

能登半島地震の発生から1か月が経過し、東海企業も被災地支援を本格化させている。現地に生産拠点を持ち、被災した企業は復旧を急いでいる。地震を受け、食料支援や人材派遣などで被災地を支える企業もある。

■「食事だけでも」

調味料メーカーのグルメストーリー（愛知県清須市）は、石川県七尾市の避難所に無償で届ける介護食約5000食分の準備を進めて

いる。同社の介護食は魚や煮物、デザートなどをそれミニキサーにかけた状態で冷凍し、愛知県内の介護

施設などで利用されてい る。食べ物をかんでのみ込むことが難しい高齢者に食事を楽しんでもらおうと、病院監修で味や栄養などに配慮した43品目を開発した。

鈴木信輝社長（41）は、テレビのニュースで被災地で非常食中心の食事が続き、介護施設の入居者の体力が低下している現状を知った。鈴木社長は「食事の時間だけでも高齢者に笑顔になつてほしい」と話す。食

品メーカーのヤマモリ（三重県桑名市）は1月22日、三重県の仲介で石川県輪島市にカレーやおかゆなどレトルト食品計約1万食を提供した。「要請があれば、追加の提供も検討したい」

介護食を無償提供するグルメストーリーの鈴木信輝社長（愛知県清須市）

介護食5000食 ■電力復旧支援2000人

トラックから支援物資を運び出す自衛隊員ら（石川県珠洲市） 東明工業提供



東海企業の被災地支援

無償提供	グルメストーリー	介護食約5000食
	東明工業	災害時用の段ボールベッドなど
	豊田通商	簡易トイレやカセットコンロなど
後方支援	トヨタ自動車	医療従事者用にミストサウナ搭載車を配置
	中部電力PG	電線の復旧などに延べ2000人以上を投入
	デンソー	ボランティアセンターに社員を派遣予定